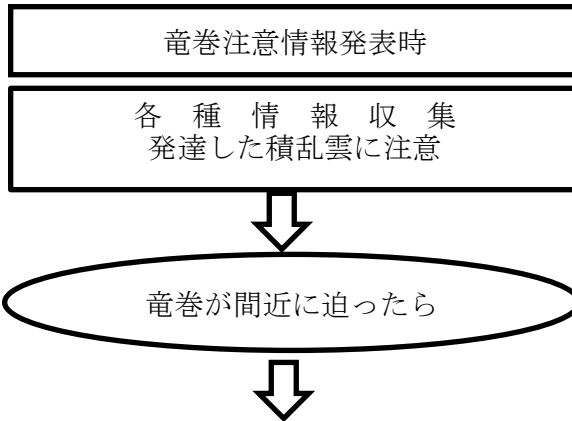


## 5 突風・竜巻への対応



○気象情報を確認し、空の様子を見て発達した積乱雲が近づいているか確認する。

**学校にいるとき**

○教室にいる場合

- ・窓を閉め、鍵をかけ、カーテンを閉める。
- ・出入り口のドアを閉める。
- ・窓から離れる。**※ガラスの周囲は危険**
- ・校舎の中央部(廊下等)に移動し、身を小さくして頭を守る。

○プレハブ教室の場合（高等部）

- ・プレハブの中は危険なので校舎に速やかに移動する。

○教室以外の校舎にいる場合

- ・壁の近くなど、物陰に入って身を小さくする。(特別教室は教室と同じ対応)

○屋外にいる場合

- ・校舎など丈夫な建物に避難する。

**※物置やプレハブの中は危険**

**登下校中のとき**

急変が予想される場合は、登下校を控える。

- ・万が一遭遇した場合、

○自力通学生徒→近くの丈夫な建物に避難する。

**※電柱や樹木は危険**

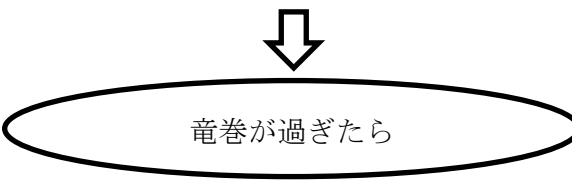
○スクールバス児童生徒→乗務員の指示に従う。バスはコースを外れてでも安全な場所へ移動する。

**※発達した積乱雲が近づく兆し**

- ・真っ黒い雲が近づき周囲が急に暗くなる。
- ・雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ・冷たい風が吹き出す。
- ・大粒の雨や雹が降り出す。

○教頭は、校内放送等で緊急事態を全職員及び児童生徒に知らせる。

○児童生徒を誘導し、安全な場所を確保し、安全な態勢を取らせる。



○児童生徒を素早く校舎内に誘導し安全確保に努める。

○児童生徒の状況（けが等）を確認すると共に、校舎の状況について確認する。